

Moon



MOON HOTELS MAGAZINE
Vol. 7
2016-2017
Autumn & Winter



Shine

MOON CRUISE

MOON OCEAN × MOON BEACH

いつだって、海は最高のフィールド！
この秋冬、ムーンホテルズで遊ぶなら、
大人の船遊び、クルージングがいいね！



サンセットクルーズに出航中のテラスオーシャンクラブ号

日射しがやわらぐ秋こそ、
海へ出よう！

10月に入ると、長かった亜熱帯の夏もそろそろ終わり。朝夕の風は涼しくなり、太陽もギリギリまぶしい真夏の顔から、少し秋めいた表情へ。海で泳ぐには肌寒いという日も増えてきて、ビーチで遊ぶツurisの姿は減っていく。秋の沖縄は、日によっては夏の名残を多少感じることもあるが、気温も湿度も下がってぐっと過ごしやすくなる。

秋から春にかけての時期に沖縄を旅する人は、旅行プランの中からマリンアクティビティを外してしまいがち。でも、この時期だからこそオススメしたいのが、海遊びだ。「海に入って」遊ぶのではなく、「洋上で」海を満喫できるクルージングは、大人の海遊びにぴったり。秋冬は海水の透明度も上がり、ますますキレイになる時期。晴れた日に、きらきらとおだやかに輝く東シナ海の潮を切つて進むのは、本当に気持ちがいいもの。海は最高の遊びのフィールドだということを、改めて実感する。夏場に比べて、クルーザーの予約が取りやすいのもうれしい。

大人のグループ旅行なら、
チャータークルーズがいい

沖縄にはさまざまなクルーズ船があり、乗り合いでリースナブルに遊べるプランを売り出している。だが大人のグループにおすすめするのは、チャータークルーズだ。他のゲストを気にすることなく、自分たちだけでゆったりと遊べる。



また、デイタイムのピクニッククルーズからサンセットクルーズ、ナイトクルーズなど、時間も融通がきき、目的や希望に合わせてコース設定もしてもらえる。船上でパーティをすることも可能。要するに、大人のワガママを聞いてもらえるのだ。

ムーンビーチならホテルの敷地内の桟橋から船に乗れる。真栄田岬やヨウ島などを、回ったり、近場でのクルーズを楽しめるのが特長。

ムーンオーシャンでは、ホテルの目の前にある宜野湾マリーナから船に乗る。青空の下、持ち込んだランチを楽しむもよし、サンセットクルーズを楽しむもよし。宜野湾マリーナから慶良間沖へは30分もあれば着くので、ちょっとしたドライブを楽しむのと同じ感覚で洋上を出かけて行けるのだ。

冬の沖縄限定のお楽しみ ホエールウォッチングにも

冬場の沖縄旅行を計画している人にオススメしたいのが、ホエールウォッチング。冬場、出産と子育てのために温かい沖縄近海へやってきたザトウクジラに、船に乗って会いに行けるのだ。洋上でしっぽを見せて潜ったり、巨体でブリーチング(ジャンプ)する様子は感動的。海の中では、彼らの鳴き声も聞こえてくる。運が良ければ、好奇心の旺盛な仔クジラが船のほうへ近づいてくることも。恩納村前兼久漁港や宜野湾マリーナから乗り合いの船で行くホエールウォッチングツアーのほか、チャータークルーズで行くことも可能だ。



MOON OCEAN × SUNSET CRUISE



①テラスオーシャンクラブ号のデッキ。沖縄の島言葉では舟で海原を行くことを「ハラス(走らせる)」と表現する。スピードに乗ったクルーザーが潮を切って進むのは爽快で、「舟を走らせる」という表現がぴったり。②宜野湾マリーナはヨットやクルーザーの母港。さまざまな海遊びができるマリンサービスのショップもあるので、季節を問わず活用したい。詳しくはムーンオーシャンのスタッフにお問い合わせを。③気の置けない仲間たちと楽しむ、あれは読谷、あれは北谷と言いながら見る陸地の風景も新鮮だ。

WHENEVER YOU LIKE, YOU CAN ENJOY YOUR FAVORITE STYLE CRUISE FROM GINOWAN

宜野湾マリーナ発のクルージングは 楽しみ方もいろいろ

ムーンオーシャン宜野湾の目と鼻の先にある宜野湾マリーナには、チャーター可能な大型クルーザーが何隻もある。オキナワンプルーの海を堪能するデイクルーズはもちろん、洋上から夜景を眺められるナイトクルーズもロマンチックな思い出になるだろう。船が棧橋を離れたら、わずか数分で東シナ海の洋上だ。舳の彼方には水平線が広がり、振り向けば海から見る沖縄本島の景色もなかなか新鮮。クルージングの予約はムーンオーシャン宜野湾のスタッフが相談に乗ってくれるので、お気軽にお問い合わせを。

テラスオーシャンクラブ号で 気ままなサンセットクルーズへ

どんな季節のどんな時間帯でも、東シナ海でのクルーズにはそれぞれの良さがある。中でも特に気持ちがいいのは、秋のサンセットクルーズだろう。

10月頃から吹き始める「新北風」という季節風が冬の気配を連れてくると、空も海も、夏の抜けるようなブルーから、柔らかな雰囲気ライトブルーへと変わっていく。夏場のうだるような蒸し暑さも消え、さわやかで過ごしやすい季節だ。

沖縄の島言葉で、たそがれ時を「アコークロー」という。直訳すれば「明るい・暗い」という意味で、夕暮れから夜へと向かう時間帯に、空がさまざまに表情を変える様子を素朴に言い表した言葉だ。まだ明るい時間帯に宜野湾マリーナから出航して、水平線に沈む夕日と、赤、オレンジ、ピンク、紫からブルーグレー、藍色から限りなく黒に近い紺色へと刻々と色を変えていく空と海を全身で感じたい。

ムーンオーシャンのオススメは、2016年、北谷にオープンした「チャタンハーバーブルーワリー&レストラン」所有の「テラスオーシャンクラブ号」でのチャータークルーズ。チャタンハーバーブルーワリーは、自家醸造のクラフトビールを飲みながら、イタリアンをベースにした創作料理が楽し



④洋上でチャタンハーバーブルワリーのクラフトビールを味わえるのはこの船だけ。⑤潮風に吹かれて優雅なひととき。⑥みんなで乾杯！船上で夕陽を背景に。⑦ムーンオーシャンの夜景。ナイトクルーズで海から見てもステキ。⑧オーシャングリルのバーカウンターで、気分を変えてカクテルを楽しむ。大人の夜はこれからだ。⑨オーシャングリルグループプランのメニューの一例。パーニャカウダの野菜の仕込みは一品一品手法が異なる。料理3コース、ドリンクから選べる！

衣装協力：セレクトショップ・コナ(ホテルムーンビーチ内)

秋の夜長は、大人のために

秋から冬にかけて日が短くなってくるということは、つまりサンセットクルーズを終えてからもたっぷり遊べるということ。アフタークルーズは、ほろ酔い気分がムーンオーシャンまで散歩しながら帰るのも気持ちいい。

オーシャングリルでクルージングの話に花を咲かせながら、もう一度乾杯！よく飲み、よく食べ、よく遊ぶ大人たちのディナーには、ポリュミーミーなグループプランがぴったりだ。シェフご自慢の豪快なグリル料理に、素材ごとに仕込みを変えて持ち味を最大限に引き出した野菜たちもたっぷり。デザートまでしっかり楽しんだら、今度はバーカウンターに移動して、3度目の乾杯を。サンセットクルーズから始まる秋の夜長は、グラスを傾けるたびに、南国の太陽と月と星が祝福してくれる。



MOON BEACH × FISHING CRUISE



①ムーンビーチのジェットボート。とにかく早い！真栄田岬沖まででも、わずか5分で到着。ムーンビーチでは、チャータークルーズが可能なジェットボートを2隻所有。経験者には、小型ヨット・ディンギーや双胴式ヨット・ホビーキャットのレンタルもあるので、セーリングも楽しめる。お問い合わせはマリンカウンターへどうぞ。
②敷地内の専用棧橋へ。ホテルの部屋からサンダル履きで歩いて行ける気軽さも心地よい。 ③出発前、船長と一緒に。行ってきまーす！

OKINAWAN BREEZE AWAITS YOU

青空の下でフィッシングや
ピクニック・クルーズを楽しむ

マリンアクティビティの豊富なムーンビーチ。海で泳ぐには少し寒いと感じるシーズンになったら、フィッシング・クルーズやチャータークルーズをおすすめしたい。

11月頃、新北風が吹くと波が出る。そこでポイントになるのが、天然の防波堤と言われるリーフ(サンゴ礁)の存在。恩納村は岸からリーフまでの距離が離れているため、波の穏やかなエリアが広いという特徴がある。リーフには白い波が打ちつけ、アウトリーフは荒れているが、中は静かというのはよくある光景。恩納村は船遊びにうってつけの環境なのだ。

チャータークルーズはジェットボートに乗って、真栄田岬や万座毛などの絶景ポイントへ行ったり、ヨウ島へ行ったりと、思いのまま。海の上で熱帯魚に餌付けを体験したり、船遊びならではの体験が可能。もちろんサンセットクルーズもチャーターできる。エメラルドグリーンの上を、風を切って走るデイクルーズの爽快感も、茜色に染まる洋上を進むサンセットクルーズの解放感も、それぞれの魅力を味わってみよう。

幅広い年代で楽しめる
フィッシング・クルーズ

フィッシング・クルーズでは、釣りのポイントもリーフの内側に多数あるため、わざわざ波のあるアウトリーフまで出る必要はない。ムーンビーチの専用棧橋からわずか5分でポイントに着くというのは大きな魅力だろう。

「リーフ内のポイントは、水深3メートルから5メートルぐらい。ターゲットとしては、タマン(フエフキダイ科)、ミーバイ(ハタ科)、カタカシ(ヒメジ科)などですね。自然が相手なので、必ず釣れますよとは言えませんが(笑)、私たち



④初めて釣りを体験するというちびっ子も、見事にミーバイを釣り上げた。お父さんが釣り初心者でも、釣り方を丁寧に教えてくれるフィッシングクルーズなら安心。
 ⑤大人カップルも十分楽しめる ⑥クルージングから戻ったら、カフェラウンジ「ラナイ」にて秋冬をイメージしたカクテルで乾杯！右はオータムエナジー、左はウィンターデイ・サンライト ⑦「やったね！」と、記念撮影。
 ⑧「ゆらぎ月」では板長がスタンバイ、包丁料(調理代金)として魚1キロあたり1000円。 ⑨タマンの塩焼き。

マリンスタッフもポイントを研究しているので、たいてい釣れます」とは、マリンスタッフの島袋さん。恩納村の海を知り尽くしたマリンスタッフは、その時の天候や潮などを見ながら、ポイントを選ぶ。また、フィッシング・クルーズは、ルアーフィッシングなので釣り餌の苦手な人も大丈夫。

「ミーバイ類は初心者でも割と釣りやすい魚ですが、タマンは針がかかったら反射的に走る(逃げようとして強い力で泳ぎ出す)ので、ちょっと技術が必要なんですよ。それを知らずに竿を持っていると、逃げられることがあります。釣りは魚との勝負。負けないようにコツをお教えします(笑)。沖縄では冬でも、はおりもの1枚という軽装で海釣りが楽しめます。県外からのお客様に『さすが沖縄は冬も暖かい』と驚かれるんですよ。沖縄に住んでいる人間は気温が15度を切ると寒いと思いますが、雪深い東北や北海道からお越しになるお客様には考えられないかもしれませんね。沖縄では冬でも海遊びができますから、釣り初心者の方も安心してお越しくださいね」

釣った魚は海にリリースするもよし、ディナーにするもよし。和琉レストラン「ゆらぎ月」で調理してもらおうのも、ムーンビーチならではの楽しみ方だ。魚の種類と希望に応じて、料理人が刺身や焼き魚などしてくれる。

ただ一つだけ、心にとめておきたいのは、おだやかな沖縄の海とはいえ、相手は自然だということ。出航率は100パーセントではない。台風や低気圧の通過後、空は晴れ渡っているのに、海面にはまだ波やうねりが残っているという状態もよくある。波が高くて安心して遊べない海況では仕方がない。

とはいえ、恩納村の海は沖縄の中でも特におだやか。よほどのことがなければ海遊びが楽しめる。水に入って濡れなくても、泳がなくても、幅広い年齢層の方に海の美しさをしっかり味わっていただけるのがクルージングのすばらしさ。今度の沖縄旅行では、ぜひムーンホテルズならではの楽しみ方で、美しい東シナ海を満喫していただきたい。

The expression of Moon Beach

ムーンビーチそのものを アートで表現してみたかった

I just wanted to express Moon Beach itself as a work of art.



安次嶺周

1980年沖縄生まれ。2002～2009年、人気インディーズバンド NEWTOWNERのMCとして活動。2010年からイラストレーター兼パフォーマー、粒マスタード安次嶺として活動開始。コミカルなダンスパフォーマンスが評判を呼び、沖縄ではTVCMに出演するまでに。イラストレーターとしては、グループ展などで作品を発表するほか雑誌や本の挿絵イラスト、ショップのロゴデザイン、イベントのポスターなども手がける。2017年2月11日～19日は、沖縄市のプラザハウスで個展を開催予定。



今号の表紙イラスト、擬人化されたムーンビーチを描いたのが、安次嶺周さんだ。

「特にアート系の学校を出たわけでもないんです。そこに紙があるから、ペンがあるからお絵描きをするという衝動が、物心ついた時からずっと続いているだけ」と語る。自由な発想で、こころのままに描かれた伸びやかな作風。このイラストは、2016年の9月までMBギャラリーで開催されていた「ぼくらのムーンビーチ展」のための描きおろし作品だ。

「小さい頃から両親に連れて来られていたムーンビーチは、僕にとって特別思い入れのあるリゾート。そこに、自分の作品を置けるといのはとにかくうれしくて、感慨深いものがありました。だったら、ムーンビーチの絵を描きたいと思ったんです」

もともと、絵を描く時にいろんなものを擬人化して考えるのが好きだと語る安次嶺さん。道を歩いている、もし信号機を擬人化したら…というふうに発想して、構成を練るのだという。

「ムーンビーチという人が『いらっしゃーい!』と元気に僕らを迎えてくれているイメージが最初にありました」

難解なアートより、誰が見てもわかる作品をと語る安次嶺さん「絵もパフォーマンスも、見た人に笑顔になってほしい。両方とも、どれだけ人を楽しく、気持ちよくさせられるかだと思っています。一時期、壁いっぱい目があるような絵も描いていたんですが、母に『気持ち悪い』とダメ出しされて、自分が目指すのは、そういうものではないことに気づきました」

見ている人を幸せな気持ちにする表現こそ、彼の流儀だ。作家とパフォーマーの両方で活動して7年。パフォーマーとしての顔は沖縄ではメジャーになったが、作家としての知名度はこれから。

「いつか、さらっと自由に描いた鉛筆画一枚でも喜ばれるような存在になれたらいいと思います」

その一歩が、2017年2月11日から19日まで、沖縄市のプラザハウス「RYCOM ANTHROPOLOGY(ライカム・アンソロポロジー)」で開催される個展だ。現在、そのための作品を鋭意制作中だという。



パフォーマー・粒マスタード安次嶺としてはロコミと動画で人気に火がつき、イギリス生まれの世界的オーディション番組「X-Factor」の日本版にも出演した。



12 X MOON X GLASS

12 artists create 12 worlds Traveling Glass art Part 2

12人の作家による旅するガラスpart 2

「沖縄と言えば琉球ガラス。今回は、あえて全く手法の異なる作品を琉球ガラスの作品と同じ空間に置くことで、それぞれの世界観が際立つようなコラボ空間を生み出せたら面白いのでは？」というところから出発しました」

と語るのはMBギャラリーの角敏郎ディレクター。今回で2回目となる「旅するガラス」展は、さまざまなタイプのガラス作品が、はるばる沖縄へと旅をしてMBギャラリーに集合してきたようなイメージだろうか。あるいは、MBギャラリーという場に身を置きつつ、作品を通してさまざまな場所をめぐる旅へと誘われるイメージだろうか。いずれにしても、受け取り方は見る人にゆだねたい。

「12人の作家さんのうち、沖縄在住の作家さんは5人。残り7人は県外の方で、今回、沖縄初上陸という方もいます。お客様に見ていただくのはもちろんですが、県内にいるガラス作家の皆さんにも一度足を運んでいただきたいと思っています」

グループ展の面白さは、一つひとつの作品を味わうだけでなく、空間をどう演出するかというキュレーションの妙にもある。仕掛ける側には、さらに別の面白さもあるようだ。

「とにかく、作家さんたちの世界観がそれぞれ特徴的。見比べること、触れること、それから異なる世界を持つ作家さんどうしが交流すること。お互いの刺激にもなるし、そこからまた新しいものが生まれてくるかもしれないという、ワクワクする感覚もあるんですよ」

さらに、展示だけにとどまらないのがMBギャラリー。これまでもワークショップやイベントなどで、一般のお客様を楽しませてきた角のことだ。展示作品以外にも、アクセサリや小物などの製作も作家さんたちに依頼しているという。旅先で出会ったMBギャラリーの思い出を、お土産として持ち帰れるようなガラス作品。これも、もう一つの「旅するガラス」の楽しみ方ではないだろうか。

旅するガラス展 II

2016年10月8日～2017年1月14日

MBギャラリー Hotel MoonBeach 1F



伊藤けんじ／富山県生まれ。吹きガラスで具象的なものを作る楽しみに目覚め、ここ数年はガラス製の動物を手がけている。



大室桃生(ももお)／東京生まれ。石膏型の跡が残る、パートドヴェールという古代ガラス技法で制作。他の技法とは印象が異なる。



奥野美果／デザイナーを経て、オランダに留学。「ガラスを通して生まれる、瞬間瞬間の光をなぞっていく」と作品づくりを語る。



加藤尚子／神奈川県生まれ。ファインアート寄りの作風について、「とても大切なものを、作品をとおして記録していきたい」と語る。



神田正之／東京生まれ。「元気で明るく楽しい気持ちになる作品を」と語る。モザイク状に切ったガラスを型に並べ、焼成する技法。



岸本利恵子／沖縄生まれ。愛らしいガラスジュエリーには、「硬く冷たいガラスを、柔らかく温もりのあるものへ」との思いがある。



小島有香子／千葉生まれ。板ガラスを貼り合わせる「積層ガラス」という技法を使う。ガラスと光との関係を楽しみたい。



佐々木雅浩／愛知生まれ。「砂が熱によってガラスと成り、私を介して形態を表出し、風によってまた砂へと還ります」と語る。



津波古(つはこ)亜希／沖縄生まれ。「言葉で表現できない時間や音や光の輪郭を形にできたら」との言葉通り、作品には余韻が宿る。



比嘉奈津子／沖縄生まれ。「ガラスは透ける。表面、中、影さえも絵にできる。立体の向こう側へ連れ出せる素材」と語る。



松田英吉(ひでよし)／沖縄恩納村生まれ。中学までいた恩納村で見た海や空、その色の変化も作品で表現していると語る。



屋我平尋(やが・へいじん)／沖縄県生まれ。「自然に従うほど良い形ができ、逆らえば醜くなる」と語るベテラン作家。



ART OF THE MOON

「こころが自然に遊びだす」アート・オブ・ザ・ムーン

ガラスらしい表現も、ガラスとは思えない表現も。
見る、空間に身を置く。イメージーションの旅へ。



Service with a Smile!

トロピカル ガーデン

You can meet lovely birds
at the Tropical Garden

ホテルムーンビーチ
ビーチフロア/アトリウム

ムーンビーチのトロピカルガーデンに、クワガタやヤドカリなどの生き物がいることをご存知ですか？中でも、かわいいさえずりを聞かせてくれるカナリアやインコたちは人気者。インコはヒナの時からスタッフが育てたとあって、人間の言葉もよく覚えています。見つけたら高めの声で話しかけてみてください。また、毎年2～6月は、敷地内でイソヒヨドリのカップルが子育てをする姿が見られます。人なつこい野鳥ですので観察してみてくださいね。



Moon Hot News!

オリジナル絵本 『ぼくらのムーンビーチ』 出版記念イベント

Original picture book
"Our MoonBeach"
has been published!

沖縄在住の絵本作家savaさんによるオリジナル絵本『ぼくらのムーンビーチ』が完成！ガジュマルの木の中にいるんな動物が隠れていたり、楽しい発見がいっぱいです。8月13日には、出版を記念して朗読イベントが開催されました。実はsavaさんは作詞作曲もこなすマルチアーティスト。当日はムーンビーチのオリジナルソングあり、作家本人による朗読ありの楽しいひとときとなりました。絵本はMBギャラリーと売店でお買い求めいただけます。



Seasonal event from Moon Vol.1

フラの本格コンペ マヒナオホク

Hula Competition
Mahina o Haku

2016年11月19日(土)、20日(日)

※フラコンペエントリー期間は終了しました

フラの本格的な競技大会を沖縄で開催しようとスタートし、今年で3年目になるマヒナオホク。本格的なステージを備えたムーンビーチの大ホール「ティンガール」で開催されます。純粋に表現力や技術力を競い合い、ハワイから招いた3名のクムフラ(フラの師匠。踊りだけでなくハワイの伝統文化の体現者でもある)が審査を行うとあって、沖縄県内外から多くのハーラウ(フラ教室)がエントリー。ハイレベルな本格フラコンペをぜひお楽しみください。



Seasonal event from Moon Vol.2

恩納村 美ら海花火大会

Onna Village
"Churaumi" Fireworks

2016年10月29日(土)
イベント 18:00 ~ 花火 20:00 ~
イベント会場: ホテルムーンビーチ
打ち上げ場所: 恩納村前兼久漁港

今年で2回目となる恩納村美ら海花火大会が開催されます。イベント会場はムーンビーチ。地元ミュージシャンによるライブイベントの後は、大空を彩る5,000発の花火をビーチからお楽しみください。



Seasonal event from Moon Vol.3

ムーンビーチ 沖縄全島やちむん市

Moon Beach
Okinawan Pottery Festival

2017年3月18日(土) ~ 20日(月)

やちむんとは、沖縄の島言葉で「焼き物(陶器)」のこと。沖縄県内各地から選りすぐりのやちむんが、お買い得価格で大集合します。毎年恒例のイベントに、ぜひお気に入りの一品を探しにお越しくださいませ。



Fun to Eat

食べるのが楽しい!

記念日ディナープランを ご用意しました

Special Dinner Courses are
ready for your Anniversary

オールディダイニング・コラーロ

Lunch / 11:30~15:00 (Last Order/14:30)

Dinner/18:00~22:00 (Last Order/21:30)

ホテルムーンビーチ 1F

お誕生日や結婚記念日など、特別な日のディナーはコラーロで。「コラーロって、buffeスタイルでしょ? 記念日のディナーには少々にぎやかなのでは?」と思われた方も、どうぞご安心を。記念日ディナープランをご予約いただいたお客様さまには、静かにお食事をお楽しみいただけるよう、落ち着いた空間を確保いたします。ふたりだけのディナーはもちろん、お誕生日やご長寿のお祝いをされたいご家族連れや、退職記念のお疲れさま会など

にもぴったりです。ムーンビーチの浜辺をイメージしたメニューには、つけあわせの自家製ピクルスにいたるまで、旬の沖縄県産食材をふんだんに使用。鳥豚のリエット、豆腐のようなミニコロッケ、前兼久漁港直送の海ぶどうなどの前菜からメイン、そしてデザートにいたるまで、シェフの仕掛けた小さなサプライズがこころも満たしてくれます。



◆記念日のディナー (要予約)

前菜、2種類からお選びいただけるメインディッシュ、スープ、パン、コーヒーまたは紅茶のコース仕立て。1週間前までにご予約をお願いいたします。



衣装協力: セレクトショップ・コナ

Tropical Style

木彫りのゆかいな 動物たち

Wood Carving



セレクトショップ・コナ

Open/07:00

Close/22:00

ホテルムーンビーチ 1F



ショップKONAではリゾートライフをもっと身近に楽しめるアイテムを提案をしています。ムーンビーチがオススメするリゾートライフアイテムを独自のセレクトでハワイやバリ島から楽しい雑貨を集めました。今回バリ島よりショップKONAに届いた新しいアイテムは、ゆかいな木彫りの動物たち。南国ムードいっぱいの動物がモチーフになっているというだけではなく、世界中から幸運を呼ぶアイコンとしても愛されてきた動物たちを模った置き物です。足が長くて白く輝く神々しい存在感のゾウ、大きな目が特徴的な知恵の守り神フクロウ、家族繁栄を願うタヌオトシゴ、そして平和を象徴する神秘的なカメ。ひとつひとつマンゴーの木から手彫りで作り上げられた木彫りの動物たちは素朴で愛嬌いっぱいです。ゴールド、シルバー、ブラウンの3色からフィーリングにあった色を見つけてください。旅の記憶と共に空間を愉しく、なんだか見守られているような気分させてくれる優しいリビングオーナメント。南国のそよ風を呼び起こすグッドフォチューンなアニマル達。オススメです!! 南国フルーツシリーズも大人気!!



Ocean Grill

リピーターに大好評の レディースプラン

Lady's plan very popular with regular customers

ランチタイム / 11:30~14:00
ティータイム / 14:00~17:30
ディナータイム / 17:30~23:00

現在、オーシャングリルのランチタイムでリピーターのお客さまにご好評をいただいているレディースプラン。日替わりの前菜・サラダ・スープに、3~4種類の中から選べるメインディッシュ。そしてデザートとコーヒーまたは紅茶がついて1,750円(税込み)と、かなりおトクな内容です。メインディッシュとデザートは月替わりなので、毎週通っても飽きるということはありません。

アメリカな雰囲気、素材の持ち味を生かしたグリル料理のイメージが強いオーシャングリルですが、

実はシェフはフレンチ出身。いろんなものを少しずつ楽しみたい女性のために、野菜もしっかり食べられる、ヘルシーなコースを考えました。写真のメインディッシュをご紹介しますと…下の写真はしっかり脂の乗ったサーモンのハラスと、沖縄では高級魚とされる県産のマクブ(和名:シロクラベラ)という二種の魚のランチプレート。上の写真は、左からラタトゥイユをトッピングしたかじきのグリル。真ん中の県産豚フィレのマスタードソースは、デミグラスソースにマスタードの組み合わせがなんとも絶妙なさわやかさです。右の太刀魚のシソ包み揚げは芯にチーズを使い、サッパリした梅ソースとの和風なコンビネーションが楽しめます。

シティリゾートというムーンオーシャンの特性から、ランチタイムは街なかのカフェのように気軽に来られる、リーズナブルな価格設定。それでいて、お庭を眺めながらのんびり過ごしていただけるよう、各料理をお出しするタイミングも、あえてゆっくりめにしています。2~3時間滞在して、たっぷりゆんたく(おしゃべり)を楽しんで変えられる常連さんも珍しくありません。気心の知れたお友達との女子会ランチに、ぜひオーシャングリルのレディースプランをご利用ください。



Ocean Life

ロングステイの お客さまの 第二のリビング

Lounge for long stay guests

ロングステイのお客様に、第二のリビングルームとして、あるいは書斎としておくつろぎいただけるラウンジをご用意。新聞や雑誌などのほか、コーヒーなどのドリンクも無料(セルフサービス)でご提供しております。また、姉妹ホテルのムーンビーチのレジデンスシャルクラブラウンジやスポーツジム、プールなどが無料でお使いいただけるという特典もご用意しております。
※ご利用条件はご確認ください。



Ocean News

煌めく冬の イルミネーション

Glimmering Winter Illumination at Moon Ocean

冬のムーンオーシャン宜野湾を華やかに彩るイルミネーション。思わず童心に返ってしまいますね。ガーデンが宝石箱のように輝く様子は、ロビーやオーシャングリルからもお楽しみいただけます。食事の後、記念撮影をされる方の姿も、毎年数多くお見受けします。年の瀬は低層フロアに宿泊されるのも、イルミネーションが楽しめて良いかもしれませぬ。点灯式は12月1日を予定。この冬も、どうぞお楽しみに。





Moon Ocean Ginowan Hotel and Residence 558-5 Uchidomari Ginowan City,
Okinawa Japan 901-2227 Tel:098-890-1110 Fax:098-890-1120

**YOU CAN TRAVEL AS IF YOU WERE LIVING HERE,
A CITY RESORT FACING THE BRILLIANT BLUE
OF THE OCEAN**

**暮らすように旅をする。
青くきらめく海に面したシティリゾート**

ビーチ、ショッピングモールなどがあり、目の前のマリーナから海遊びに出る船にも乗れます。気楽なレジデンシャルスタイルと快適なホテルサービスの両方をそなえたムーンオーシャン宜野湾は、すべての客室にキッチン完備。海と空と風に包まれ、心やすらぐロングステイをどうぞ。

A location blessed with both city and beach. In the Ginowan convention area, a 30 minute drive from Naha airport, there are the Okinawa Convention Center, beach and a shopping mall. You can also take a boat for marine activities from Ginowan marina which is located in front of the hotel. At Moon Ocean Ginowan with relaxing service and a casual residential style, kitchen is equipped in every guest room for your comfort. Experience a sense of ease, wrapped in the comfort of sea and sky as you experience your long-stay vacation with us.



**HOTEL
Moon Beach**

Hotel Moon Beach 1203 Maekaneku Onna-son Kunigami-gun,
Okinawa Japan 904-0414 Tel:098 965 1020 Fax:098 965 0555

**FEEL THE UNCHANGING TRANQUILITY HERE,
IN THE RESORT CLOSEST TO NATURE.**

**自然にいちばん近いリゾートで、
いつまでも変わらないやすらぎを感じて**

沖縄本島西海岸、恩納村のリゾートエリアに、三日月型の美しい天然ビーチを抱くように建つムーンビーチ。自然を肌で感じる南国リゾートの心地よさに包まれて、楽園のくつろぎと開放感をご提供します。機能的なツインから、プレミアムなレジデンシャルクラブまで、ゲストルームのタイプもさまざま。アクティブな海遊びも、アートに触れて過ごす休日も、自分流の滞在をムーンビーチでお楽しみください。

Hotel Moon Beach is surrounded by beautiful nature at a prime location, embracing a natural crescent shaped beach in Onna Village's resort area on the west coast of the main island of Okinawa. Feel the nature around you and be surrounded by the comfort of a tropical resort. We offer a vacation paradise suitable for easy comfort giving our guest a sense of freedom. From functional twin rooms to the premium Residential Club, we offer many different types of guestrooms. Marine activities or Art gallery are available for you to decide on how you would like to spend your wonderful vacation.



海と空が彩る景色が、最高のアートになる



Residential Club Members Lounge

ラグーンプールの向こうには、白い砂のビーチ
涼やかな風がそよぐレジデンシャルクラブ専用ラウンジで
時間とともに表情を変える自然に包まれる



- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ホテルムーンビーチ | 〒904-0414 沖縄県国頭郡恩納村字前兼久1203 TEL.098-965-1020 FAX.098-965-0555 www.moonbeach.co.jp |
| <input type="checkbox"/> ムーンオーシャン宜野湾 ホテル&レジデンス | 〒901-2227 沖縄県宜野湾市宇地泊558-8 TEL.098-890-1110 FAX.098-890-1120 www.moonoceaninowan.jp |
| <input type="checkbox"/> 東京営業所 | 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7 NBF日比谷ビル11F TEL.03-5512-5277 FAX.03-6203-2271 |
| <input type="checkbox"/> 大阪営業所 | 〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎2-5-10 梅田パシフィックビル5F TEL.06-6948-8890 FAX.06-6948-8891 |